機械学習の基礎的な概念を説明で	<u>心理基礎</u>				
照要 新選					
調整学科					
期期					
製料音が数材 1922 日 一型 1922 1923 1924 1924 1924 1925					
国当時日 前値 正宜 奥 高洋 炉 健一別達目標 2,3 年次の情報処理 1 ~1 Vで学んだプログラミングの応用として、ニューフルネットワークをはじめとする機械学習やバジングできた。また、パ・アータサイエンスの活用手例について学ぶ。 地域・					
別達目標 2、34次の情報処理 I ~Nで学んだプログラミングの応用として ニューラルネットワークをはじめとする機械学習からな こっいで学ぶ。また、AI・データウイエンスの活用学例について学ぶ。これで学ぶ。また、AI・データウイエンスの活用学例について学ぶ。 ループリック 「理想的な到達レベルの目安 機械学習の概念、基礎的なアカゴ はができる。 国権の理の基礎的な処理を説明できる。 国権の理の基礎的な処理を説明できる。 国権の理の基礎的な処理を説明できる。 「温度・コープルネットワークの基礎的 機械学習の形念、基礎的な国際 処理について説明できる。 「温度・コープルネットワークの基礎的 機械学 2 のよとして利用することができる。 「温度・3 の基礎的な理を記明できる。 「温度・3 のまた 2 のよとして利用することができる。 「温度・3 のまた 3 のよとして利用することができる。 「温度・3 のまた 3 のよとして利用することできる。 「温度・3 のまた 3 のま					
2. 3年次の情報処理 ()・Nで学んだフログラミングの応用として、ユューラルネットワークをはしめとする機械学習やバビニンにて学ぶ、また、AI・データサイエンスの活用事例について学ぶ。 ループリック 理想的な対達レベルの目安					
機械学習の基礎的な概念を説明で 機械学習の概念、基礎的なアルブ 機械学習の概念、基礎的な要素を 機械学習の概念 が明さる。	(ターン認識, 画像処 ³				
画像処理の基礎的な効理を説明できる。というないというない。	標準的な到達レベルの目安未到達レベルの目安				
型型について説明できる。)概念,基礎的な要素を い.				
こつ、一部の単純の	の構造, 基礎的な画像 いて説明できない.				
いて基礎的な要素を説明できる。)基礎的な要素について で,単純パーセプトロン りなプログラムを作成で ごきない.				
教育方法等 概要	タサイエンスの基礎的だ 目できない.				
世界					
### ### ### ### ### ### ### ### ### ##					
理解を深めることを要望する. 受業の属性・履修上の区分	ラミングを交えながら S.				
受業の属性・履修上の区分 □ アクティブラーニング 図 ICT 利用 □ 遠隔授業対応 □ 実務経験 受業計画 □ 担び業内容 週ごとの到達目標 □ AI・データサイエンスの概要 AI・データサイエンスの基礎的ないて説明できる。 □ 画像処理基礎 AIの歴史、倫理 AIの歴史や社会的背景、AIを利にで説明できる。 □ 画像処理基礎 □ 画像処理技術について記して利用することができる。 □ 画像処理基礎 □ 基礎的な画像処理技術についてきる。 □ 画像処理基礎 □ 基礎的な機械学習についての概念 できる。 □ 機械学習基礎 □ ブラムとして利用することができる。 □ 機械学習基礎 □ フラムとして利用することができる。 □ 機械学習としてのパターン認識に □ ブラムとして利用することができる。 □ 機械学習としてのパターン認識に □ ブラムとして利用することができる。 □ 1 週 中間試験、機械学習 □ 対応あり学習、教師あり学習、教師あり学習、教師あり学習、教師あり学習、教師ありできる。 □ 1 回 ニューラルネットワーク基礎 □ ニューラルネットワークの基礎 □ ニューラルネットワークの基礎 □ ニューラルネットワーク II 世紀パーセプトロンについて説明することができる。 □ 1 回 ニューラルネットワーク基礎 □ スープ・ロンについて記録の □ エーラルネットワーク基礎 □ スープ・ロンについて記録の □ エーラルネットワーク基礎 □ スープ・ロンについて記録の □ スープ・ロンについて記録の □ スープ・ロンについて基礎的な要素を □ 1 回 コーラルネットワーク基礎 □ スープ・ロンについて基礎的な要素を □ 1 回 スープ・ロンについて記録について基礎的な要素を □ 1 回 スープ・ロンについて記録のな □ 1 回 スープ・ロンについて記録のな □ 1 回 スープ・ロンについて記録のな □ 1 回 スープ・ロンについて記述のな □ 1 回 スープ・ロンについていていていていていていていていていていていていていていていていていていて	もらいたい.				
□ アクティブラーニング □ ICT 利用 □ 遠隔授業対応 □ 実務経験 □ 選					
2					
週 授業内容 週ごとの到達目標	験のある教員による授				
週 授業内容 週ごとの到達目標					
1週 AI・データサイエンスの概要					
15回 AI・チータリイエン人の概要 いて説明できる。 AIの歴史、倫理					
1stQ 画像処理基礎 画像処理基礎 画像の理技術について記して利用することができる。 画像処理基礎 基礎的な画像処理技術について記して利用することができる。	AI・データサイエンスの基礎的な概念や活用事例にて いて説明できる.				
1stQ 画像処理基礎 喜る。	AIの歴史や社会的背景, AIを利用する際の倫理につて説明できる.				
1stQ 画像処理基礎					
画像処理基礎 画像処理基礎 基礎的な機械学習についての概念 書できる。 機械学習基礎 基礎的な機械学習についての概念 きる。 機械学習基礎 機械学習をしてのパターン認識に ログラムとして利用することがで 教師あり学習,教師なし学習などな学習について説明することができる。 10週 ニューラルネットワーク基礎 ニューラルネットワーク基礎 コーラルネットワーク基礎 ログラムとして利用することができる。 11週 ニューラルネットワーク基礎 世純パーセプトロンについて説明して利用することができる。 11週 ニューラルネットワーク基礎 少で表の 2月間 2月					
10週 機械学習基礎 きる. 機械学習としてのパターン認識にログラムとして利用することができる。					
10回 1回 1回 1回 1回 1回 1回 1回					
10週	機械学習としてのパターン認識について説明でき、このグラムとして利用することができる。				
10週	教師あり学習,教師なし学習など,機械学習の基礎 な学習について説明することができる.				
2ndQ					
2ndQ 11週 ニューラルネットワーク基礎 次層学習について基礎的な要素を					
2ndQ 13週 AIの学習,評価 AIの活用事例を通して,学習,言る. 14週 AIの推論,再評価 AIの活用事例を通して,推論や開説明できる. 15週 試験答案の返却・解説 試験において間違った部分を自分る(非評価項目).					
14週 AIの推論, 再評価 AIの活用事例を通して, 推論や開設明できる. 15週 試験答案の返却・解説 試験において間違った部分を自分る (非評価項目).	AIの活用事例を通して、学習、評価の要素を説明で				
15週 試験答案の返却・解説 試験において間違った部分を自分る (非評価項目)	AIの活用事例を通して、推論や再評価といった概念				
	自分の課題として把握*				
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標	1				
分類 分野 学習内容 学習内容の到達目標 到i 評価割合	到達レベル 授業週				

総合評価割合	70	30	0	0	0	0	100
基礎的能力	0	0	0	0	0	0	0
専門的能力	70	30	0	0	0	0	100
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0